令和5年度最終号

はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより
令和６年３月 19 日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」
自ら学ぶ子・人とつながる子
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

ＨＰ：shinmaizuru-maizuru.edumap.jp

祝！卒業・進級　　そして
１年間ありがとうございました

祖母谷川に吹く風が春の香りを運んでくる頃となりました。

21日、96名の卒業生が力強く巣立ちます。卒業生の皆さんの前途を心から祝福し、保護者並びにご家族の皆様に心よりお祝い申しあげます。また、22日には、在校生462名がそれぞれの学年の課程を修了し、次の学年に進級します。進級おめでとうございます。

今年度は、５月の新型コロナウイルス感染症の５類移行により、少しずつコロナ禍前の生活に戻り、全校児童が集まって行事を行ったり、社会見学等の校外行事を行ったりすることができました。３年間のコロナ禍を経た子どもたち、マスクを着け、ソーシャルディスタンスを意識しながらの生活が当たり前のようになっていたからこそ、ようやく、マスクを外して友達と会話ができるようになったり、多くの人が集まって活動できるようになったりしたことで、気付いたことも多くあったようです。画面越しで行っていた全校集会も、体育館で集合して行うようになりました。児童会本部役員や各委員会の発表をステージの上で行います。「伝えたい」気持ちが大きな声を出して堂々と発表する姿に表れました。「生」の発表を真剣なまなざしで見聞きし、感想交流にはいつもたくさんの手が上がり、「伝えたい」気持ちが体育館じゅうにあふれていました。実際に人と人が出会って、思いを伝え合うことの大切さや心地よさを子どもたちが感じているのでしょう。友達と、目だけでなく顔全体の表情を突き合わせ、話をしたり、時にはけんかをしたりする中で、お互いのことをよりよく理解するという感覚も味わっていることと思います。

これからも、実際に人と会い、また実際に「ホンモノ」に出会って触れ、体験することを通して、子どもたちにそのよさを味わわせ、学びを深めていきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も様々な面で支えていただきました。校区内の町探検や総合的な学習の時間の学習では、各学年が、地域のお店や施設の皆さんにもお世話になりました。５年生のお米作りには今年も堂奥の皆さんに大変お世話になりました。また、毎日の登下校につきまして、健康管理や通学路の見守りなど、本当にありがとうございました。

人権尊重を基盤に、すべての子どもの育ちが実感できるような教育実践を進めるべく、精一杯努めてまいりましたが、ご心配やご迷惑をおかけしたこともありました。しかし、その都度励ましていただいたり、温かく見守っていただいたりしましたことに深く感謝申しあげます。これからも、新舞鶴っ子が、はせやまんに象徴される「やる気！ 勇気！ 元気！あふれる笑顔」を大切にすくすくと育ちますよう、皆様のご支援をお願い申しあげ、令和５年度を終えるに当たってのご挨拶とさせていただきます。

校長　小森昌子
教 職 員 一 同